

一般廃棄物処理業許可証

住所 (法人の場合は主たる事務所の所在地)	埼玉県比企郡小川町大字角山1045番地
名称	株式会社環境サービス
氏名 (法人の場合は代表者氏名)	代表取締役 原 一
取扱廃棄物の種類	一般廃棄物(ごみ)
収集・運搬及び処分の別	収集・運搬
許可の期間	自 令和6年4月1日 至 令和8年3月31日
許可の条件	別紙のとおり

埼玉西部環境保全組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例第21条第1項の規定により上記のとおり許可する。

令和6年3月14日

埼玉西部環境保全組合
管理者 齊藤 芳久



一般廃棄物処理業許可条件

- 1 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「埼玉西部環境保全組合の処理及び清掃に関する条例」を遵守すること。
- 2 埼玉西部環境保全組合一般廃棄物処理計画に従い収集・運搬を行うこと。
- 3 搬入する一般廃棄物は、当組管内（鶴ヶ島市、毛呂山町、鳩山町及び越生町）から発生したものに限る。
- 4 埼玉西部クリーンセンターに搬入できるものは、可燃物とする。
- 5 川角リサイクルプラザに搬入できるものは、不燃物及び紙・布類を除く資源物とする。ただし、事業所から排出されたものに関しては、資源となるびん・かん類（製造・使用・販売したものを除く。）に限る。
- 6 埼玉西部クリーンセンターへの搬入に当たっては、通行可能道路を必ず通行すること。ただし、鳩山町内の収集運搬業務で、通行可能道路を通行できない場合は、この限りでない。
- 7 当組合施設への搬入に当たっては、必ず市町ごとに搬入し、徹底した分別を図るとともに可能な限りリサイクルを推進し、搬入量の減少に努めること。
- 8 運搬及び搬入に当たっては、積載物の落下及び飛散防止の処置（トラックはシートを掛ける。収集車のテールゲートは、必ず閉める。）を行うとともに、臭気漏れなどの発生防止策を講じること。
- 9 搬入車両は、常に清掃を行い清潔に保つこと。
- 10 組合施設内においては、常に徐行運転を励行すること。
また、埼玉西部クリーンセンターのプラットフォーム内では、転落防止用のチェーンを必ず装着し、事故防止に努めること。
- 11 毎月10日までに前月分の一般廃棄物状況報告書（様式第15号）を提出すること。
また、特定家庭用機器廃棄物の許可を得ている場合は、毎月10日までに前月分の実績報告を提出すること（様式は問わないが、排出場所、品目の内訳及び台数を明確にすること）。
- 12 申請内容（委託契約報告書、車両調書等）に変更や異動が生じた場合は、速やかに変更申請（様式任意）を提出すること。
- 13 ごみ検査において、違反ごみの搬入が判明した場合、搬入停止又は許可を取り消す場合がある。
- 14 組管内で収集運搬業務中に発生した第1号及び第2号に該当する事故については、速やかに文書で当組合に報告すること。なお、事故があつたにもかかわらず報告がない事等（虚偽の報告を含む。）が判明した場合は、搬入停止又許可を取り消す場合がある。
 - (1) 施設等や民地内等で起きた事故の場合
 - ア 全ての人身事故
 - イ 重大な物損事故
例 事業所における燃料タンク等の危険物施設等への物損事故、施設内での物損事故
 - ウ 埼玉西部環境保全組合の敷地内での全ての事故
 - (2) 公道上で事故が起きた場合
 - ア 全ての人身事故
 - イ 重大な物損事故
- 15 その他、組合の指示に従うこと。

教 示

- 1 この許可に不服がある場合には、この許可があったことを知った日の翌日から起算して3月以内に、埼玉西部環境保全組合管理者に対して審査請求をすることができます（なお、この許可があったことを知った日の翌日から起算して3月以内であっても、この許可の日の翌日から起算して1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。）。
- 2 この許可については、この許可があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、埼玉西部環境保全組合を被告として（訴訟において埼玉西部環境保全組合を代表する者は管理者となります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、この許可があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この許可の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。ただし、上記1の審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、当該裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。